

平和の約束＜ミカ書＞

2012/8/5 平和記念礼拝
シリーズ～旧約聖書入門～

南ユダ王国の王たち

名前	治世	
レハブアム	17年	悪王。異教礼拝。聖なる高台他
アサ	41年	善王。異教を排除。聖なる高台
ヨシャファト	25年	善王。聖なる高台
ヨラム	8年	悪王。アハブの娘を妻。
ヨアシュ	40年	善王。神殿の再建
アマツヤ	29年	善王。
ウジヤ	52年	善王。神殿で香をたこうとする
ヨタム	16年	善王。
アハズ	16年	悪王。異教礼拝。
ヒゼキヤ	29年	善王。祭儀や祭りの復活

ミカの時代

北イスラエル王国、アッシ
リアに滅ばされる

南ユダ王国の状態(前～中期)

- * 北王国に比べると、良い王が多かった
 - * 「父祖ダビデと同じように主の目にかなう正しいことを行い...」
- * エルサレム神殿が信仰の柱と成っていた
 - * 何度か、神殿の改修が行われた(ヨアシュ・ウジヤ・ヒゼキヤ)
- * 「聖なる高台」は取り除かれなかった
 - * 神殿外で自由にいけにえが献げられた

アッシリアの脅威

- * **イザヤやホセアと同時代**

- * 「ユダの王ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代」1:1

- * **北王国に対するアッシリアの度重なる侵略**

- * 722年のサマリア陥落

- * **南ユダ王国にも侵略が及ぶ**

- * ヒゼキヤ王の時代(前701年), センナケリブがエルサレムを包囲する

- * ヒゼキヤの祈りとイザヤの働きにより回避

腐敗した南ユダ王国

* 富裕層の横暴

- * 「彼らは貪欲に畑を奪い、家々を取り上げる。住人から家を、人々から嗣業を強奪する。」 2:2

* 預言者軽視

- * 「こんなことについてたわごとを言うな。そんな非難は当たらない。」(民のミカに対する発言) 2:6

* 為政者による搾取

- * 「平和な者から彼らは衣服をはぎ取る／戦いを避け、安らかに過ぎ行こうとする者から。」 2:8

神殿があるから大丈夫？

* 指導者らの圧政

* 「善を憎み、悪を愛する者／人々の皮をはぎ、骨から肉をそぎ取る者らよ」3:2

* 腐敗した指導者・預言者

* 3:11 頭たちは賄賂を取って裁判をし／祭司たちは代価を取って教え／預言者たちは金を取って託宣を告げる。しかも主を頼りにして言う。「主が我らの中におられるではないか／災いが我々に及ぶことはない」と。

確実にもたらされる裁き

* 主はいつまでも黙って見ておられない

* 「主なる神はお前たちに対する証人となられる。主は、その聖なる神殿から来られる」 1:2

* エルサレムであつても裁きを免れない

* 「お前たちのゆえに／シオンは耕されて畑となり／エルサレムは石塚に変わり／神殿の山は木の生い茂る聖なる高台となる」 3:12

* 求められる悔い改め

* 「人よ、何が善であり／主が何をお前に求めておられるかは／お前に告げられている。正義を行い、慈しみを愛し／へりくだって神と共に歩むこと、これである。」

6:8

究極の平和の約束

- * 主はすべての戦いを終わらせ、すべての人々は安心して暮らすようになる
- * 「主は多くの民の争いを裁き／はるか遠くまでも、強い国々を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし／槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず／もはや戦うことを学ばない。人はそれぞれ自分のぶどうの木の下／いちじくの木の下に座り／脅かすものは何もないと／万軍の主の口が語られた。」 4:3-4

神は平和を望み、与える

- * 旧約聖書には戦いの話ばかり載っているが...
 - * 律法に従っていれば他国の侵略は遭わなかった
 - * 攻める前には降伏を勧告するよう命じられている
 - * 「ある町を攻撃しようとして、そこに近づくならば、まず、降伏を勧告しなさい。」申命記20:10
- * 主は平和の神である
 - * この世界は完全な調和のもとに創造されたが、人間の愚かさにより、戦場となってしまった
 - * 「神は無秩序の神ではなく、**平和の神**だからです」
＜2コリント14:33＞

真の平和のための支配者

* ベツレヘムで生まれる

- * 「エフラタのベツレヘムよ／お前はユダの氏族の中でいと小さき者。**お前の中から、わたしのために／イスラエルを治める者が出る。**彼の出生は古く、永遠の昔にさかのぼる。」5:1

* 彼こそが平和そのもの

- * 「彼は立って、群れを養う／主の力、神である主の御名の威厳をもって。彼らは安らかに住まう。今や、彼は大きいなる者となり／その力が地の果てに及ぶからだ。**彼こそ、まさしく平和である。**」5:3-4